

血小板減少

●原因

抗がん剤の影響で骨髄機能が障害され、出血を止める作用がある血小板が減少することがあります。

抗がん剤の投与開始後1週目ころから減少し始め、2～3週間で最低値となります。

●血小板減少の起こる時期



●症状

血小板が減少すると、出血が起きやすく、また血が止まりにくくなります。

- 内出血（打撲したようなあざ）
- 口の中の出血（歯磨きによる）
- 鼻出血（鼻かみによる粘膜の出血）
- 黒い便や、血便、血尿
- 皮膚の点状出血、斑状出血 など



●ご自身で注意していただきたいこと

①皮膚のケア

- ・入浴時などは皮膚を強くこすらないようにしましょう。
- ・皮膚が乾燥すると、皮膚が傷つきやすくなるため、保湿剤を塗りましょう。
- ・男性の髭剃りは、傷を作らないようにカミソリより、電気カミソリをおすすめします。

②口の中のケア

- ・歯磨きは、柔らかい歯ブラシを使用しましょう。

③排便コントロール

- ・便秘により、肛門粘膜に傷がつき、出血することがあるため、便秘の予防も大切です。

●出血時の対処法

- ・採血後や注射が終わった後は5分以上しっかり圧迫して、止血を確認しましょう。
- ・鼻出血は、横にならず、座って鼻先をつまむように圧迫しましょう。
(鼻から流れてきた血液を飲み込まないように)



●こんな時は病院に連絡を！

- ・転倒して頭を打った時や出血が止まらないは時、受診をおすすめします。
- ・判断に困るようなことがあれば、連絡・ご相談下さい。
平日 8:30~17:00 外来化学療法室
第2・4・5(土) 8:30~12:00 一般外来(受診科)
夜間17:00以降、第1・3(土)・(日)・(祝) は救急外来

